

2022 年度 奨励研究報告書

地域支援としての幼児期の教育支援コンテンツの開発

幼児期における運動遊びの指導充実のための教材開発

と

インクルーシブ教育の充実のための教材パッケージの開発

(2022 年度分 中間報告)

札幌国際大学

安井 政樹

札幌国際大学短期大学部

林 二士

報告書の構成

1 本研究の概要.....	3
2 幼児期における運動遊びの指導充実のための教材開発	4
3 インクルーシブ教育の充実のための教材パッケージの開発.....	5
3.1 はじめに	5
3.2 グランドデザインの試作.....	6
3.3 清田区におけるインクルーシブ教育の充実のための教材パッケージ開発.....	10
3.4 インクルーシブ教育の充実のための教職課程学生向けの講座の開催	13
4 実施状況の報告.....	14
5 最終報告に向けて	18

1 本研究の概要

地域支援としての幼児期の教育支援コンテンツの開発

本研究を通して、札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部の専門性を生かし、地域の教育支援をするためのコンテンツを開発し、提供することで、地域貢献、社会貢献を進める。

幼児期における運動遊びの指導充実のための教材開発

担当:林

★現場で役立つ 運動遊びの動画 や 資料 を提供

インクルーシブ教育の充実のための教材パッケージの開発

担当:安井

- ★パラリンリアンと幼児が遊びを通して学ぶことができる出前授業パッケージを開発
- ・出前授業の概要や成果をまとめた資料
 - ・パラリンリアンのインタビュー映像
 - ・普及用の動画 Movie など



地域の幼児教育施設に教材の提供

(出前授業や教材を収録した DVD など)

2 幼児期における運動遊びの指導充実のための教材開発

現在、研究のまとめに時間を要しているため、2023 年度末に最終報告を行う

3 インクルーシブ教育の充実のための教材パッケージの開発

3.1 はじめに

本研究は、地域貢献として「インクルーシブ教育の充実のための教材パッケージ」を開発することにより、「多文化共生都市・国際都市・札幌」の市民の素地を養うための教育支援を行うことが目的である。

このような市民の素地は 2030 年のオリンピックパラリンピック招致や開催に向けてもとても重要であり、札幌の街が、より一層ウェルビーイングを実現する街に近づくためにも大切な要素であると考えられる。

我が国の教育は、個別最適な学びを重視し、特別支援教育の重要性はより一層高まっている。一方で、子ども園では、いわゆる発達障害の子どもや外国にルーツをもつ子供などの多様性に困難を感じているという現実もある。そのため、幼児期から「多様な人とのかかわり」を意図的計画的に行うことで、子ども自身が多様性を認められるように育てて行くとともに、その姿を伝えていくことで、保護者や地域の目をも育てていく教育パッケージを開発する。

2030 年に向けて、札幌市はオリンピックパラリンピックの誘致を検討している。札幌市と連携協定を結ぶ本学が主体となって本教材パッケージを開発し、札幌市に提供する意義は、とても大きいと考えられる。

3.2 グランドデザインの試作

本研究をスタートするにあたり、包括連携先である札幌市（清田区・スポーツ局）と理念や方向性を共有するため「グラウンドデザイン」を試作した。具体的には、以下の通りである。今後、これをより具体化しながら、関係機関と連携を図りつつ、本学ができる札幌市におけるインクルーシブ教育の充実のための取り組みをさらに検討し、継続していきたい。



グラウンドデザイン(試案)

グラウンドデザイン



国際都市札幌をつくり・ささえる人を
インクルーシブ教育で文化の種まきを

具体的なイメージ1

国際色豊かに育つ
札幌人

オリンピック・パラリンピアン・札幌国際大学の留学生と幼児・小学生とのふれあいや文化の交流を通して、「より多文化を大切に作る街」について考える。

一緒に遊んだら
楽しかったよ

もっと
話してみたいな

もっと
知りたいな

もっと
伝えたいな

幼児期
遊びを通した
ふれあい

小学校低学年
遊びを通した
交流学习

小学校中学年・高学年
遊びや会話を通した交流学习
(外国語活動・外国語 など)
食文化に触れる
(食育・家庭科・子ども家庭教室など)

小学校高学年・中学校
札幌のよさを表現
(総合的な学習の時間など)

「世界とつながる教室」
一緒に遊ぶことを通して、お互いの国を知る
(5領域健康・人間関係等と関連)

「世界とつながる教室」
楽しく会話し仲良くなる料理を知って興味をもつ一緒に作って文化に触れる
(国際理解教育と関連)

「世界とつながる教室」
小学生 札幌の魅力動画コンテスト優秀作品には、留学生が字幕を付けてYouTubeなどで公開
(プログラミング教育・GIGA スクールと関連)

「世界とつながる教室」(対面・オンライン)

オンラインを生かして、他国の小学校との遠隔学習(かけはしのための通訳として留学生の活躍の場)

「小学生 札幌の魅力動画コンテスト」+「清田区の魅力写真コンテスト」(地域向け)

(大学と清田区の共催)
動画の字幕・写真の説明などの翻訳に札幌国際大学の力を生かす

「世界とつながる教室」(地域向け)

地域向けの国際理解教室(語学や文化) (大学と清田区の共催)
留学生だけではなく、地域の外国の人たちとのつながりを生む

「世界とつながる教室」(地域向け・親子向け)

地域向けの国際食文化教室 (大学と清田区の共催)
留学生だけではなく、地域の外国の人たちとのつながりを生む

「世界とつながる教室 PR」(オンライン発信)

→清田区の学校、地域の取り組みを HP や動画で発信
こうした動画の翻訳に札幌国際大学の力を生かす

世界と清田区の人々の懸け橋となる札幌国際大学

具体的なイメージ2



世界と清田区のやさしさの懸け橋となる札幌国際大学

具体的なイメージ3

スポーツを楽しむ
清田っ子

オリンピック・パラリンピアン・札幌国際大学の留学生と幼児・小学生とのふれあいやスポーツ交流を通してともに「より楽しく暮らす街」を考える

スポーツって楽しいな

もっといろんな人とスポーツで楽しみたいな

みんなが楽しむイベントを企画したいな

幼児期
遊びを通した
ふれあい

小学校低学年
一緒にかけっこ、
鬼ごっこ、外国の
運動遊びなどをす
る

小学校中学年・高学年
体育などで留学生とふれあい
パラスポーツ体験
(体育・総合的な学習の時間 など)

小学校高学年・中学校
スポーツイベントを
子どもたちの力で開催
留学生も参加
(総合的な学習の時間など)

「世界とつながる教室」
一緒に体を動かしてあ
そぼう
(5 領域健康・人間関係
等と関連)

「世界とつながる教室」
パラスポーツを体験し
よう！留学生とスポー
ツ交流をしよう
(国際理解・福祉学習と関連)

「世界とつながる教室」
パラスポーツを体験しよ
う！
(国際理解・福祉学習と関連)

「世界とつながる教室」
みんなが楽しめる遊びづ
くり、イベントづくり
(国際理解・福祉学習と関連)

「世界とつながる教室」(オンライン)
オンラインを生かして、パラリンピアンとの遠隔学習(かけはしのための通訳として留学生の活躍の場)

「世界とつながるスポーツ教室」(地域向け・教員向け・学校向け出前授業)
パラスポーツ体験会 (大学と清田区の共催)
世代、言葉を超えて、みんなで楽しむことができるスポーツの良さを体感

「世界とつながるスポーツ教室」(教員向け・学校向け出前授業)
国際パラリンピック委員会公認教材『I'mPOSSIBLE(アイムポッシブル)』教室(地域教員向け)
(大学と清田区の共催)
札幌国際大学の力を生かす

スポーツで世界と清田区を懸け橋となる札幌国際大学

3.3 清田区におけるインクルーシブ教育の充実のための教材パッケージ開発

本研究では、清田区内の他園でも実践できるような「教材パッケージ開発」を試みた。出前授業型とし、札幌市や札幌市スポーツ局と連携をしながら、パラリンピアンと幼児と一緒に遊ぶことを通して、多様性の理解を促すとともに、もっと仲良くなりたい!もっと遊びたいと、障害の有無に囚われることなく、ひとりの人として大切に育てることをねらい、プログラム構成を検討した。下記が、モデルカリキュラムである。

1 テーマ

パラリンピアンと いっしょに遊ぼう

足が不自由な人とも 一緒に遊んで楽しいな

2 期待する教育的効果

【子どもの実態】

足が不自由、足がない。「え?」「かわいそう…」そんな思いを直感的にもってしまう子が多くいます。知らない・見たことがない、という「未知からくる不安感」もあり、どうしても距離をとろうとする子も出てくるでしょう。

【期待する効果】

そこで、未知なる人を身近に感じられる「ふれあい」を大切にプログラムを実施し、「仲良くなれたよ」「一緒に過ごせて楽しかったよ。」「また、来てほしいなあ」と、距離を近づけようとする子どもを育てたいと考えます。これにより、「足が無くても、スポーツできる人もいるんだね!」とパラスポーツに興味をもったり、一緒に体を動かす楽しさを知ったり、ともに活動する喜びを感じたりすることで、多様性の中で共生していく札幌人の育成という未来への種まきを目指します。

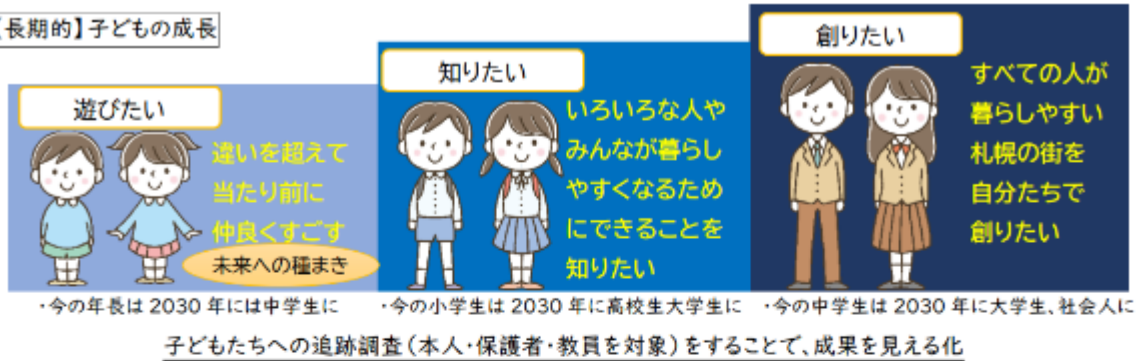
3 当日の流れ(具体は付属こども園と相談)

実施予定日:7月〇日〇曜日(〇時~〇時) 雨天時:

時配	子どもの活動	大人の支援
	●ゲストティーチャーとの出会い ・今日はどんな人が来るのかなあ。	義足でスポーツをされている方に協力を依頼 (義足を外した状態でご登場いただく?)
	●一緒に遊ぼうよ! ・おにごっこ、かけっこをしたいなあ ・え?足がないのには? ・義足があればできるんだよ。	みんなと仲良くなりたいな というメッセージ でも、大丈夫?という素直な声、素朴な疑問を表出させたい。(変容の見取り)
	●義足を見させてもらう、触らせてもらう	ふれあいを大切に。義足の部分などに直接触れ、未知の不安を解消できるようにする。
	●実際に一緒に遊ぼう! ・園庭で一緒に遊ぶ	楽しく過ごすことで、当たり前と一緒に過ごせるようになるような場をつくる。
	●感想をお話しよう ・足が無くても、鬼ごっこできてすごかったです。 ・またいっしょに遊びたいなあ。また来てね! 未来への種まき	一緒に遊べた喜び、驚き、うれしさを共有し、また遊びたいという気持ちを高める。
	●ゲストティーチャーからのお話を聞く ・実は、違いがあるのは当たり前なんだよ。...	インクルーシブの視点から、苦手や違いを超えてなかよくすることの大切さを伝えてもらう。

モデルカリキュラム

【長期的】子どもの成長



【短期的】子どもの実際の姿 と 大人(保護者・先生)からみた 子どもの成長



本学付属認定こども園との試行の際の実施計画

【パラリンピアンと一緒に遊ぼう！活動案】 園児の動きー 9:50 到着 11:20 出発

	子どもの活動	子どもの思い	大人の支援
9:50	第1 体育館に集合・整列	どんな人が来るのかな？	第1 体育館へ移動
10:00	ゲストとの出会い(車いすでご登場) (10) なんのスポーツをしている人なのかなあ？ 実はスキーなんです。(足が不自由⇔スキーのギャップ) 【ビデオ】で、ご活躍の様子を視聴(1~2分のショートムービー)	えええ？ 車いすの人でもスキーできるの？ 道具を工夫したら、みんなと同じようにスキーが楽しめるんだね！	まずは、ゲストの方のお名前のみをご紹介します どの競技をされているのかを考えることで、興味関心を高めるとともに、スキーをされていることへの驚きへとつなげていく 大学のスクリーンとプロジェクタ
10:10	チェアスキーと金メダルを触らせてもらおう！ (20)		触る時の子どもの動線の整理
10:30	金メダルをとるまでに、どんながんばりしてきたのかな？ (10) 【遊び1】一緒にいくつかのトレーニングを体験してみる。 【先生たちと対決】狩野さん VS 園長先生	どうやって練習してきたのかな？ ぼくたちもやってみたいな	子どももチャレンジできるような動き 最後は、子供がまねできないような動き 対決:狩野さんのすごさを目の前で体感 何かのトレーニングメニューで対決できたら マットなどの準備物が必要か確認
10:40	車いす体験 (10) 【遊び2】車いす競争を狩野さん、先生、代表の子どもで	車いすって大変？ こんなに動けてすごいなあ 一緒に遊んでほしいな	車いすで動くすごさを感じる。 車いすの準備(大学にある?)
10:50	一緒にあそぼう！ (10) 【遊び3】折り返しリレーを狩野さんと一緒に	身体が不自由な人とも、 ルールを替えたり 道具を使ったりすることで、 一緒に楽しめるんだね！	A チーム(子ども+狩野さん) B チーム(子ども)というように狩野さんに入ってもらって、園児が狩野さんを応援する雰囲気を作りたい 時間を見ながら、狩野さんの入るチームを交代で2回目も?
11:00	感想交流 (10)	今度は、 一緒にスキーしてみたいな。 また一緒に遊びたいな。	時間調整のため、10分を確保
11:10	記念写真撮影 (10)		狩野さんを中心に写真撮影を実施
11:20	第1 体育館出発		11:30の昼食に間に合うように出発

配慮事項：付属認定こども園のスケジュール上、感想交流の時間を調整して、必ず11:20分に出発できるように

3.4 インクルーシブ教育の充実のための教職課程学生向けの講座の開催

教職課程の学生やスポーツに打ち込んでいる学生とパラリンピアンが共に語る場を設けることも、インクルーシブ教育の充実に資すると考え、本学学生向けの講座を開催した。

札幌国際大学×清田区連携事業

パラリンピアンと一緒に語ろう

共生社会に向けたインクルーシブ教育

金メダリストと教育を語ってみたい学生募集！

北海道・札幌
冬季オリンピック・パラリンピックの招致を目指しています

Japanese Paralympic Committee

写真：<https://www.parasapo.tokyo/featured-athletes/kano-akira> より

スペシャルゲスト

パラリンピック金メダリスト
狩野 亮 (KANO Akira) さん

こんな教育をしていきたい！
みんなが生き生き過ごす共生社会とは？

そんなことを一緒に考えてみませんか？
教職を目指す学生さんに特におすすめです。

主なご活躍

- 2010バンクーバーパラリンピック
- ・男子スーパー大回転 金メダル
 - ・男子滑降 銅メダル
- 2014ソチパラリンピック
- ・男子滑降 金メダル
 - ・男子スーパー大回転 金メダル

2018平昌パラリンピック
2022北京パラリンピックにも出場

日時：2022年8月24日（水）10：00～15：00 ※午後からのみの参加も可

第1部 認定こども園でのふれあい講座（見学）

第2部 未来の先生と金メダリストとのふれあいトーク

会場：第1体育館 など

お申込み：masaki-yasui@ts.siu.ac.jp （スポーツ指導学科 安井政樹）

4 実施状況の報告

事業報告

2022年8月24日

地域連携事業(出前講座イベント)
「パラリンピアンと一緒に遊ぼう！一緒に語ろう！」を開催

午前の部「パラリンピアンと一緒に遊ぼう！」は第1体育館で

遊びを通して学ぶことを大切に

狩野さんとリレー遊びやかけっこ競争も

金メダリストに質問コーナー

子どもたちの社会を見る目が変わる

2022年8月24日

地域連携事業イベント(出前講座イベント)

「パラリンピアンと一緒に遊ぼう！一緒に語ろう！」を開催

パラリンピック金メダリストの狩野亮さんをゲストに、出前講座を開催しました。

札幌国際大学と札幌市(清田区)が主催し、札幌市スポーツ局の協力で実現しました。

午前の部は「パラリンピアンと一緒に遊ぼう！」

付属認定子ども園の年長約60名が狩野さんとの遊びを通して学びました。



足が不自由でも、道具を使ったらスキーができること。かけっこやリレーも一緒に楽しむことを通して、「また来てね!」「また一緒に遊びたい!」という思いを膨らませていました。本物の金メダルを触らせてもらい、**オリンピック、パラリンピックへの興味関心も高まりました。**

園児からは「おうちに入るときはどうするの?」という純粋な質問も。狩野さんは、「段差が2段以上あると登れないからスロープを使っているよ。」「おうちの中用の車いすがあるよ。」と教えてくれました。

きっとこの先、スロープを見たり車いすの方を見たりしたときの見え方が変わってくるはず。こうした素地を育てる「**幼児期からのインクルーシブ教育**」に、**本学はこれからも取り組んでいきます。**



午後の部「パラリンピアンと一緒に
語ろう！」は 213 教室で

直接の対話を大切に

午後の部は「パラリンピアンと一緒に語ろう！」

本学学生約 30 名が、狩野さんと共生社会やスポーツについて語り
合いました。

本学スポーツ指導学科の安井政樹准教授のコーディネートで、学生
との熱い対話が展開されました。



インクルーシブ教育を身近に

ICT を使った教育も体験

意見を集約する ICT 活用
(メンチメーター)

目が悪い人が眼鏡やコンタクトレンズを使って普通に暮らせる。
足が不自由な人は、車いすで……。多様性の中で誰もが豊かに暮
らす共生社会について考えました。

ICT を活用をして発表が苦手な人でも意思表示できる工夫なども
実際に体験しながら、インクルーシブ教育について考えました。



直接体験を大切に

金メダリストと直接話す
金メダルの重みを感じる
車いすに乗ってみる

スポーツをしている

今の自分に重ねた質問も

狩野さんを中心に

本学学長・清田区長様と
一緒に記念撮影

共生社会に向けた未来への種まき

車椅子バスケット用の車いすに乗る体験や金メダルを触らせてもらいながらのトークや記念撮影などを通して、心に残る日になったことでしょう。



怪我をして歩けないことが分かったときの気持ち、学校での周りの支え、街で声をかけられたときの気持ちなどについての質問や頑張れたモチベーション、自分を高めるメンタル、日々のトレーニングや食生活についての質問など、**学生たちは自分の興味関心に基づいて多くの質問をしながら、学んでいました。**



最後には、平野学長と山田清田区長様からも、学生たちにエールを送っていただきました。こうした**豊かな経験が「心のタネ」と**なります。一人一人の学生の中で**「心の花」が咲き、人々が幸せに暮らす共生社会につながることを期待しています。**



北海道・札幌

冬季オリンピック・
パラリンピック
の招致を目指しています



なお、本イベントの様子は、STV、TVH、北海道新聞、北海道通信等でも紹介されました。

文責：安井政樹

【報道関係リンク】

ニュース記事は掲載期間の関係上、削除されますので、ご承知おきください。

STV

[【金メダル獲得】パラリンピアンと楽しむ出前授業 札幌市 | 北海道 | ニュース | STV札幌テレビ \(stv.jp\)](#)



[【金メダル獲得】パラリンピアンと楽しむ出前授業 札幌市 | 北海道 | ニュース | STV札幌テレビ](#)

子どもたちにパラスポーツやパラリンピックへの関心を高めてもらうため、パラリンピアンと楽しむ出前授業が札幌市で開かれています。(女の子)「こっちのほうが大きいかどあっちの方が小さいの」札幌市内の大学で開催されている出前授業。今回は、バンクーバーやソチの ...

www.stv.jp

北海道新聞

[パラスキー金・狩野さん、札幌国際大で授業「興味を持ったことに挑戦を」:北海道新聞 どうしん電子版 \(hokkaido-np.co.jp\)](#)



[パラスキー金・狩野さん、札幌国際大で授業「興味を持ったことに挑戦を」:北海道新聞 どうしん電子版](#)

冬季パラリンピックのアルペンスキー座位で計3個の金メダルを獲得した狩野亮さん(36)＝網走市出身＝が24日、札幌国際大(札幌市清田区)で出前授業を行い、学生約30人に共生社会の実現や挑戦することの大...

www.hokkaido-np.co.jp

ひろまある清田

[パラリンピアン狩野亮さんが札幌国際大学で附属こども園園児と学生たちに出前授業 | ひろまある 清田 \(hiromaaru.org\)](#)

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/721959/>

5 最終報告に向けて

本研究の最終報告を2023年度末にできるよう、現在、まとめ等を実施しているところである。特に、動画教材の編集等に時間がかかっており、教材パッケージづくりに時間を要している状況である。

2022年度の研究を踏まえ、さらに、23年度に地域貢献事業として継続しながら、その成果も含めて、最終報告で改めてご報告させていただく予定である。